

第 82 回日本臨床外科学会総会

<ビデオパネルディスカッション> (公募・一部指定)

1. 局所進行・再発直腸癌に対する安全な手術手技

局所進行・再発直腸癌に対する手術では他臓器や仙骨合併切除などを必要とすることも多く、時に過大侵襲による重篤な合併症を招くことも経験する。本セッションでは安全な局所進行・再発直腸癌に対する手術をおこなうための、手技や術前術後の工夫などを議論していただきたい。術中偶発症例や術後合併症例に対する対策とともに各施設での限界などについても討論していただきたい。

2. 腹腔鏡下再肝切除の適応と工夫

腹腔鏡下肝切除は、標準的な手術方法となりつつあるが、再発症例に対しては、癒着等の問題を含め難渋する場面に遭遇する。そこで、各施設の、再肝切除時の適応・成績・現況ならび切除時の工夫や、初回治療時の再肝切除に向けて行っている対策を紹介していただきたい。

3. 肝胆膵領域におけるロボット支援下手術の現況と展望

2018年4月にロボット支援手術12術式が新たに保険収載された。様々な領域で少しずつロボット支援手術の導入が進んでいるが、肝胆膵領域に関しては特に高難度手術に対しては依然として従来型腹腔鏡手術も導入、普及、定型化が完成しているとは言い難い。本セッションでは、ロボット支援手術は肝胆膵領域で内視鏡外科手術の成績を超えられるのか、あるいは従来型腹腔鏡手術の短所を補うことが出来るのか、さらには、肝胆膵外科医は開腹手術、従来型腹腔鏡手術、ロボット支援手術を、どのように教育されていくべきなのか、ビデオを供覧しながら討論していただきたい。

4. 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除の工夫

2016年にリンパ節郭清を伴わない腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術が保険収載され3年以上が経過した。施設基準が厳しく適応も限られているため、標準術式となっているとは言いがたいが、継続的に腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術を行っている施設では、少しずつ経験が積み重ねられていると思われる。自施設内基準や安全性への配慮、工夫、次世代や他施設へ継承するための取り組み等について討論していただきたい。